













# 子宮頸がん治療開発マップ 2017.8.

※特殊組織型（小細胞癌など）を除く











対象	標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬/適応外薬		
Stage IA	単純 or 準広汎 or 広汎子宮全摘術 					
Stage IB1	広汎子宮全摘術 	<b>JCOG1101</b> 腫瘍2cm以下に対する準広汎子宮全摘術 2012.12~ 				
Stage IB2	術後再発リスク群 広汎子宮全摘術 + (同時化学)放射線療法 <sup>1)</sup> 					
Stage IIA	(同時化学)放射線療法 <sup>1)</sup>	<b>JCOG0102</b> 術前化学療法 2004.11→2005.4 	<b>JCOG1402</b> 術後再発 高リスク群に対する IMRT-同時化学放射線療法 <sup>1)</sup> 2017.1~ 	JGOG1067 骨盤リンパ節陽性術後 イリノテカン+ネダプラチン (Phase II) 2010.1~2011.12 →2017.8最終解析		
Stage IIB					GOTIC002 初回CCRT後 Consolidation UFT 2010.5~	JGOG 術後再発中・高リスク群に対する術後補助シスプラチンCCRT vs. TP or TC (Phase III) 計画中
Stage IIB (bulky)						
Stage III						
Stage IVA						
Stage IVB	局所治療で制御可能	<b>JCOG0505</b> 局所治療で制御不能 TP療法 vs. TC療法 ~2009.11→2011.12 	局所治療で制御不能 GOG204 →TP療法 GOG240 →TP療法+ベバシズマブ	S-1		
再発	手術または(同時化学)放射線療法 <sup>1)</sup>				<b>JCOG1311</b> Tri-TC±Bev vs. ddTC±Bev (Phase II/III) 2015.10~ 	シスプラチン vs. S-1+シスプラチン →最終解析待ち

1) 同時化学放射線療法(CCRT)：化学療法(標準はシスプラチン 40 mg/m<sup>2</sup>/w 5-6回投与)と外部照射(全骨盤照射)±腔内照射の同時併用  
 TC：パクリタキセル+カルボプラチン、Tri-TC：3週毎のTC、ddTC：パクリタキセル1週毎、カルボプラチン3週毎に投与するTC  
 TP：パクリタキセル+シスプラチン \* 2016年5月 本邦でもベバシズマブ (Bev)が子宮頸癌に適応拡大となっている

対象 (2008 FIGO分類)	標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬/適応外薬
Stage IA	旧Stage IA 類内膜腺癌G1: 子宮体癌基本手術 オプション: 妊孕性温存療法 			
Stage IB	類内膜腺癌G1を除く Stage IA Stage IB-IV: 子宮体癌基本手術+後腹膜リンパ節手術+術後補助化学療法*			
Stage II	(ドキソルビシン+シスプラチン または パクリタキセル+カルボプラチン)			
Stage IIIA				
Stage IIIB	*低リスク(類内膜腺癌G1/G2でStage IA/IB、尿管侵襲なし) 以外の場合には術後補助化学療法			
Stage IIIC	手術オプション 頸部浸潤症例では単純子宮全摘に代わり広汎または準広汎子宮全摘術。 漿液性腺癌・明細胞癌症例、腹水細胞診陽性例に対して大網切除術追加。	<div style="border: 2px solid #0070C0; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p><b>JCOG1412</b> Stage IB-IIIC: 子宮体癌基本手術 + 骨盤リンパ節郭清 vs. +傍大動脈リンパ節郭清 2016.12~</p>  </div>	<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p>GOGO-EM3 子宮体癌術後再発中・高リスク群に対する術後補助化学療法としての TC+エピルビシン vs. TC+ドキソルビシン vs. ddTC ランダム化第II相試験 (登録終了経過観察中)</p> </div>	
Stage IVA				
Stage IVB	<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; text-align: center;">  <p>化学療法・放射線療法 ・姑息的手術療法</p> </div>		<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p>JGOG2046 寛解導入化学療法後に腫瘍摘出手術に関する Feasibility study (登録終了経過観察中)</p> </div>	
再発	化学療法・放射線療法・手術療法 オプション 類内膜腺癌G1またはプロゲステロン受容体陽性: 黄体ホルモン療法 			

子宮体癌基本手術: 単純子宮全摘術+両側付属器切除術  
後腹膜リンパ節手術: 骨盤内・傍大動脈リンパ節の生検または郭清

TC: パクリタキセル+カルボプラチン  
ddTC: パクリタキセル1週毎、カルボプラチン3週毎

対象	標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬/ 適応外薬
Stage IA Stage IB	<p>Stage IA-IB 明細胞腺癌を除く 分化度G1: 卵巣癌基本手術 + 後腹膜リンパ節手術</p>    <p>Stage IA-IB 明細胞腺癌または 分化度G2-G3、 Stage IC-IIA:</p>	<p><b>JCOG1203</b> 妊孕性温存治療 患側付属器摘出+大網部分切除 + 後腹膜リンパ節手術 + 腹腔内細胞診 ± 対側卵巣生検± 腹膜生検 + 術後補助化学療法(TC療法) 2014.3.~</p> 	<p>JGOG3020 Stage IA~IC: 術後補助 化学療法 あり vs なし 第III相試験</p>	
Stage IC	<p>卵巣癌基本手術+ 後腹膜リンパ節手術 + 術後補助化学療法(TC療法)</p>			
Stage IIA				
Stage IIB	 			
Stage IIIA	<p>Stage IIB~IV:</p>		<p>GOTIC001/JGOG3019 Stage II~IV:</p>	<p>GOG3005 Stage IC~IV:</p>
Stage IIIB	<p>卵巣癌基本手術+ 可及的転移巣切除 + 後腹膜リンパ節手術 + 術後補助化学療法 (TC療法)</p>	<p><b>JCOG0602</b> (臨床診断による) Stage III~IV:</p>  	<p>ddTC vs. パクリタキセル毎週点滴静注 + カルボプラチン3週毎腹腔内投与 第II/III相試験</p>	<p>周術期化学療法+/-ベリパリブ 第III相試験</p>
Stage IIIC	<p>オプション (III期以上で、ベバシズマブ併用+維持) (ddTC療法)</p>	<p>術前TC療法 vs. 手術先行療法 第III相試験 ~2011.10→2017.10</p>		
Stage IVA				
Stage IVB				
プラチナ抵抗性	<p>リポソーマルドキソルビシン、トポテカン、 ゲムシタピン、イリノテカン、エトポシド、 毎週投与パクリタキセル</p> 		<p>JGOG3018 リポソーマルドキソルビシン 50mg/m<sup>2</sup> vs 40mg/m<sup>2</sup> 第III相試験</p>	<p>JGOG3023 単剤化学療法±ベマシズマブ ランダム化第II相試験</p>
プラチナ感受性	<p>パクリタキセル+カルボプラチン、 ゲムシタピン+カルボプラチン、 リポソーマルドキソルビシン+カルボプラチン</p> 		<p>NRG-GY004 オラパリブ vs. オラパリブ+セディラニブ vs. プラチナ併用化学療法の第III相試験</p>	

卵巣癌基本手術：単純子宮全摘術+ 両側付属器切除術+ 大網切除術  
後腹膜リンパ節手術：骨盤内・傍大動脈リンパ節の生検または郭清

TC：パクリタキセル+カルボプラチン  
ddTC：パクリタキセル1週毎、カルボプラチン3週毎